

高校合格資料集

合格に向かってラストスパート

泣いても笑っても県立入試まであと一ヶ月を切りました。ついに最後のがんばりどころに来たわけです。『楽勝で合格』なんて思っている人は少ないでしょう。みんなどこかに“不安”があるはず。あせらず、悔いの残らないように、あと少しの期間ですから頑張ってください。

勉強はマイ・ペースで!

この時期新しい問題集に手をつけたり、難問に挑戦したりする人もいます。勉強時間を増やして夜遅くまで机に向かう人もいます。でも、周りの人に刺激されて、いろいろなことをするよりも、あせらず自分のペースで勉強を続けることが大切です。

この時期、あれもこれもやっている時間はありません。自分の弱点はどこなのか、どこが間違えやすいのかを把握し、そこを重点的に復習していきましょう。そのためには過去問や今までの茨城統一テストをやり直し、同じ間違えをしないように、公式・構文・単語などはしっかり整理し、類似問題でも解答できるようにしておくことが得策です。

成功の最大の秘訣は、
他人や状況に振り回されない人間になる
ということだ

シュバイツァー（ドイツの医師・哲学者）

スランプ解消

「こんなに勉強してるのに思うように問題が解けない…」「この前はできたのに…」この時期は精神的にも体力的にも疲れているので、誰でもスランプに陥りやすくなります。何もやっていない人にはスランプはおきないのです。一生懸命やっているからこそ、そうなるのです。成果が上がらないと思ったら、迷わず先生に相談してください。客観的なアドバイスをもらうことが一番効果的だからです。また一人で悩んでいるよりも先生に話すことによって、気が楽になる場合もあります。スランプ状態のままできてやる気をなくしていたら、いくら周りからアドバイスを受けても効果は上がりません。早めに相談しましょう。

自分一人で石を持ち上げる気がなかったら、
二人がかりでも石は持ち上がらない

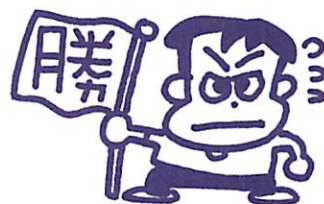
ゲーテ（ドイツの詩人・作家）

不安になることは考えない

受験直前は、誰だってイライラしたり不安になったりするものです。あせったりイライラしているのはあなた一人だけではありません。「合格できるかなあ」と不安になることもあります。いつまでもあれこれと考えていても不安ばかりが大きくなってしまいます。そんなときは思い切って気分転換をしましょう。好きな音楽を聴いたり、テレビを見たり…。そして、新たな気分で机に向かうようにしましょう。

俺ってすごくポジティブな性格だけど、
裏を返せば、実はすごく不安な性格なん
です。不安だから努力しようと思う。

本田圭佑（サッカー選手）



本番まであと少しです。今頑張らなくて、いつ頑張るのだという気持ちで、最後までできるだけのことをして、試験会場へ臨んで下さい。

勝てると思えば勝てるのだ
自信こそ勝利の条件である

ハズリット（イギリスの随筆家）

スーパー追い込み 勉強法

弱点補強

入試が近づいてきたこの時期は、最も集中力が高まり、実力も伸びるチャンス。「もう間に合わな〜い」とあきらめる前に、最後の追い込み・総仕上げに全力で取り組みましょう。これからの努力次第で入試の明暗が分かれるのです。

今までの総まとめ学習を！

ここまできたら、新しいことに手をつけたり、あれもこれもと欲ばって勉強時間を急に増やしても、かえって調子をくずして逆効果。それよりも、今までどおりのペースを守って、これまで勉強してきたことを総点検し、確実に身につけることのほうが得点アップにつながります。

週間計画をたてる！

これからの短時間で能率よく学習を進めるためには、1カ月の大まかな計画はもちろん、1週間ごとの細かい計画も必要です。曜日ごとの予定に合わせて、学習教科・時間を設定し、日曜日はその週に学習したことの確認と、やり残したことのフォローにあてましょう。

学習時間は、はじめから「1日5時間」などと欲ばらずに、進行具合に合わせて、だんだん増やしていきましょう。また、暗記は夜の9時〜10時頃に集中してやり、翌朝30分ぐらいでさっと確認すると、記憶が確実になると言われています。朝、学校へ行くまでの時間も、計画のなかに有効に組み入れてはどうでしょうか？

◆重要点・弱点の最終チェック

完全におぼえるには、“くりかえす”ことが最良の方法。今までやってきた参考書や問題集を2度3度とやり直し、重要事項や自分の弱点を最終チェックしましょう。使い慣れたものは、思わぬ弱点や記憶もれの発見ができて、総復習にはピッタリの教材なのです。

また、これまでに受けた学校での定期テストや茨城統一テストの見直しもオススメです。「入試で同じような問題が出たら、今度は絶対正解できる」という自信がつくまで、前に正解できなかった問題はカンペキに理解しておくこと。

入試の前日まで着実に勉強していくことが、「やるだけのことはやったんだ」という満足感と自信につながるのです。

間違いノートを作る

過去問や茨城統一テストで間違えてしまった問題をそのままにしておいてはダメ。次に同じような問題が出た時に、必ず解答できるようにしておかなければ意味がない。間違えた問題を1冊のノートにまとめておけば、一番の参考書になる。

本番テスト直前までのキミの強い味方だ。

実戦力補強

過去問活用の Point

過去問はやっただけでは力はずきません。やり方、アフターケアが肝心です。

Point 1 時間を計ってやる!

過去問は正確に時間を計ってやってみよう。県立の試験時間は各教科 50 分で行われる。50 分といっても実際にどの程度の時間なのか? 実体験して、体で感覚をつかむことがポイント。

☞ケース1 時間内に問題を解くことが出来なかった場合

- ・その時点でいったん終了し、自己採点をする
- ・その後で、手のつかなかった問題をやってみる
- ・手のつかなかった問題で、時間があればできた問題があったかをチェック

☞ケース2 時間が余ってしまった場合

- ・そのまま制限時間まで見直しを続ける
- ・どの程度の時間見直しができるかをチェック
- ・見直しの結果、早トチリや単純ミスがなかったかをチェック

Point 2 出題の流れをつかむ!

問題を解いた後、答え合わせと同時に、どういった問題がどこで出題されていたかを確認しておこう。

入試では『できる問題から解く』ことが鉄則。【問1】から解く必要はない。どこでどんな問題が出ているのかを把握し、できる問題から手をつける。そのためにも、出題の流れをチェックしておこう。

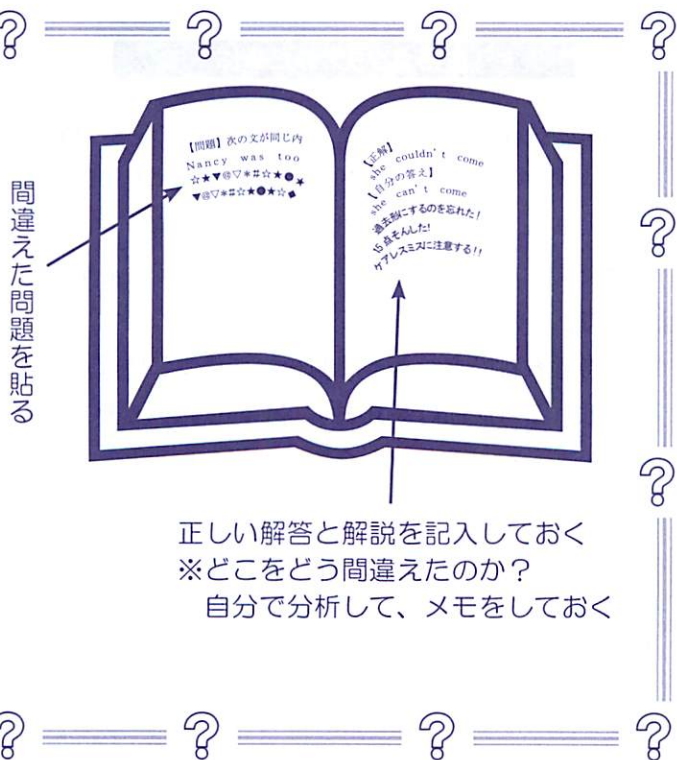
自分の弱点がどこかわからない

茨城統一テストの『個人成績表』を見てみよう。裏面の『学力分析表』には、各教科領域別に受験者全員の正答率とキミの正誤が載っている。正答率が高い(他の受験生ができてい)のに自分が間違えている領域がないかチェックしてみよう。

◆入試問題集で再確認

重要点・弱点のチェックができれば、その知識を実際に使いこなせるかどうか、過去の入試問題集で再確認しましょう。おぼえているつもりでも、いざとなると答えられないことが必ずいくつか出てくるもの。これから本番までは、そのような“穴”をできるかぎり埋めていくことが大切です。

入試問題は特に念入りに練習し、最低でも過去5年間の入試問題はしっかりやりましょう。自分なりに出題傾向や設問形式のクセをつかんでおきましょう。時間に余裕のある人は他県の問題もやってみるといいでしょう。



合

格答案づくり

実力 120% 発揮するために

入試本番では、満点をとることや難問を解けるようにすることではなく、まずは“合格点”をとることが目標なのです。

実践モードで本番に備える

入試本番に備え過去問などを利用して、合格答案づくりを実践してみましょう。

◆慣れる

ただ問題を解くだけでなく、出題のパターンなどをつかんでおきたい。

◆答案作りのテクニック

時間配分、問題を解く順番、見直しのやり方、ミス対策など、自分に合ったやり方を見つけよう。

合格点を目標に！

「いいわけ点」はない

「数学は難問に時間をとられちゃって…」とか「英作文はつづりミスで1点減点」なんて経験はありませんか？

中学校の先生が採点する定期試験とちがって、高校入試では、試験後の「いいわけ」は通用しません。



ミスに泣かない

学校での定期テストや茨城統一テストをふりかえって、これまで自分がよくやってしまった“ミスの傾向”をチェックしておきましょう。つまらないミスや勘違いのために×にならないよう、注意しましょう。

こんなミスで失点しない

- ☑ 名前や受験番号などを記入せず、いきなり問題を解く
- ☑ 記述式解答で、単語のつづりや漢字を間違ふ
- ☑ 字が汚く、採点の先生に読み間違えられる
- ☑ 解答らんを間違えるなどの、ケアレスミス
- ☑ 問題文の読み違い、考え違いなどの早トチリ



合格点クリアのために

入試の目標は、満点をとることではなく、“合格点”をクリアすること。だから、苦労して難問を1問解答するよりも、多くの基本問題を確実に正解するほうが得策です。たとえ同じ実力でも、こういった心構えの違いで、得点に差がついてしまうものなのです。

不得意教科でも、基本問題をおさえておけば、合格点を取れる可能性はあります。不得意教科こそ基本問題に集中して、少しでも点数を上げられるようがんばりましょう。たとえば数学は、公立では約5割、私立では受験校のレベルにもよりますが、約2割は基本をきちんとおさえておけば得点できるはず。苦手教科でも“合格点”を取れる可能性は十分にあるのです。

☆社会アルファベット略称一覧☆

BRICS	ASEAN	APEC
EPA	CSR	COP
GDP	FTA	EU
IC	GHQ	G 8 サミット G 20 サミット
NATO	NAFTA	IT/ICT
NPT	NIES	NGO/NPO
PKO	OPEC	ODA
TPP	POS	PL(法)
WHO	UNICEF	UNESCO
3R	3C	WTO



<p>APEC【アジア太平洋経済協力(会議)】 アジア、南北アメリカ、オセアニアなどの太平洋に面した 21 の国・地域が加盟し、貿易などの自由化、経済・技術協力などについて話し合うもの。</p>	<p>ASEAN【東南アジア諸国連合】 東南アジア 10 か国のシンガポール、フィリピン、ベトナム、マレーシア、タイ、ラオス、カンボジア、ブルネイ、インドネシア、ミャンマーで結成。</p>	<p>BRICS 経済発展が著しいブラジル(Brazil)、ロシア連邦(Russia)、インド(India)、中国(China)、南アフリカ共和国(South Africa)の 5 か国の総称。</p>
<p>COP【気候変動枠組条約締約国会議】 地球温暖化問題に対する国際的な枠組みを設定した条約の加盟国による会議。毎年会議が開かれ、2017年にはドイツのボンでCOP23が開かれた。</p>	<p>CSR【企業の社会的責任】 企業が、利潤の追求だけでなく、労働者の雇用を守ることや、法令を順守すること、環境に配慮することなどの、社会的責任を担うこと。</p>	<p>EPA【経済連携協定】 物流だけでなく、人の移動、知的財産権の保護、投資などでの様々な協力や幅広い分野で連携し、両国または地域間での親密な関係強化を目指す協定。</p>
<p>EU【欧州連合・ヨーロッパ連合】 ヨーロッパの経済的、政治的統合をめざして、1993年に発足。2016年現在、加盟国は 28 か国だが、2016年 6 月の国民投票でイギリスが離脱を決めた。</p>	<p>FTA【自由貿易協定】 特定の国や地域との間にかかる関税や企業への規制を取り払い、物やサービスの流通を自由に行えるようにする協定。</p>	<p>GDP【国内総生産】 国の経済活動の規模を示す数値で、一年間に国内で生産された総額から算出される。似たようなものに GNP(国民総生産)、GNI(国民総所得)がある。</p>
<p>G 8 サミット / G 20 サミット G8はアメリカ、イギリス、フランス、イタリア、ドイツ、カナダ、日本、ロシアと EU(ロシアは参加停止中)。G20は G8に 11 の新興国を加えたもの。</p>	<p>GHQ【連合国軍最高司令官総司令部】 連合国軍総司令部ともいう。太平洋戦争終了後、ポツダム宣言に基づいて日本を占領し、非軍事化や民主化政策を指令。最高司令官はマッカーサー。</p>	<p>IC【集積回路】 コンピュータや通信機器などに使われている回路。軽い割に高価なので、航空機輸送でも採算がとれるため、空港の近くに工場があることが多い。</p>
<p>IT/ICT【情報技術/情報通信技術】 ITは情報処理、特にコンピュータなどの基礎あるいは応用技術の総称。通信を含める場合は ICT という。近年、これに関する産業が急速に発達した。</p>	<p>NAFTA【北米自由貿易協定】 北アメリカ州に属しているアメリカ合衆国、カナダ、メキシコの 3 か国の間で結ばれた貿易その他の自由化を定めた協定。</p>	<p>NATO【北大西洋条約機構】 アメリカ合衆国を中心とした、北アメリカ(=アメリカ合衆国とカナダ)とヨーロッパ諸国によって結成された軍事同盟。冷戦時の西側諸国に当たる。</p>
<p>NGO/NPO【非政府組織/非営利組織】 どちらも「一般市民が営利ではなく社会に貢献するために活動する団体」の意味。NGOは「非政府」を強調して国際的な場面で使われることが多い。</p>	<p>NIES【新興工業経済地域】 1970年代以降に急速に工業化し、経済を発展させた国や地域を指す。台湾や韓国、香港、シンガポールなどをアジア NIES とよぶこともある。</p>	<p>NPT【核拡散防止条約】 加入国を核保有国と非保有国に分け、核保有国の核兵器輸出や非保有国の核兵器開発の禁止を定めた条約。インド、北朝鮮など数か国が不参加。</p>
<p>ODA【政府開発援助】 発展途上国などに住む、貧困に苦しむ人々の生活や衛生環境の改善のために、無償での資金協力、資金貸与、技術協力などを行い援助すること。</p>	<p>OPEC【石油輸出国機構】 国際石油資本などから石油産出国の利益を守ることを目的として、1960年に設立された組織。西アジア(中東地域)の国々を中心に 14 か国が加盟。</p>	<p>PKO【国連平和維持活動】 紛争や内戦を解決するための国際連合の活動。1992年に自衛隊の PKO 参加を盛り込んだ PKO 協力法が制定され、カンボジアなどに派遣された。</p>
<p>PL(法)【製造物責任法】 製品の欠陥によって消費者が被害をこうむった場合、企業に過失がなくても製造者である企業に被害の救済を義務づけた法律。1995年施行。</p>	<p>POS【販売時点情報管理】 コンビニなどでレジでバーコードを読み取る際に、商品の販売動向を集計・分析することで、在庫の管理や製造や流通の合理化を図るシステム。</p>	<p>TPP【環太平洋経済連携協定】 環太平洋地域の国々による経済の自由化を目的とした多角的経済連携協定だが、2017年にアメリカが離脱を表明して、協議が続けられている。</p>
<p>UNESCO【国連教育科学文化機関】 文化や教育の面から世界平和に貢献することを目的に、世界遺産などの文化財の保護や識字教育などの活動を行う国連の専門機関。本部はパリ。</p>	<p>UNICEF【国連児童基金】 子ども(児童)の権利条約に基づき、子どもの権利を確立し、子どもたちの生存と健全な成長を守るために活動している。本部はニューヨーク。</p>	<p>WHO【世界保健機関】 「すべての人に健康を」を目標として、おもに発展途上国で、医療や公衆衛生への取り組みを行っている国連の専門機関。本部はジュネーブ。</p>
<p>WTO【世界貿易機関】 自由貿易促進を主たる目的として、GATT(関税と貿易に関する一般協定)を発展解消させて創設された国際機関。常設事務局はジュネーブ。</p>	<p>3C 高度経済成長期の 1960年代半ばに普及したカー、クーラー、カラーテレビ。三種の神器は 1950年代後半に普及した電気冷蔵庫、電気洗濯機、テレビ。</p>	<p>3R 循環型社会の形成のための三つの R で、リデュース(ごみの発生抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(ごみの再生利用)を指す。</p>

☆理科重要事項・公式一覧☆

質量パーセント 濃度	代表的な 気体の発生方法	密 度
浮 力	圧 力	入射角 反射角 屈折角
還 元	化 合	分 解
並列回路	直列回路	オームの法則
磁 界	電流による 発熱量	電 力
力のつり合い	等圧線	湿 度
等速直線運動	速 さ	力の合成・分解
仕事の原理	仕事率	仕 事
中 和	電池のしくみ	力学的 エネルギー
遺 伝	南中高度	天体の動き



<p>密度とは、一定体積(ふつう 1 cm³ あたり)の質量。</p> $\text{密度}[\text{g}/\text{cm}^3] = \frac{\text{物質の質量}[\text{g}]}{\text{物質の体積}[\text{cm}^3]}$	<p>【酸素】 二酸化マンガン+うすい過酸化水素水 【二酸化炭素】 石灰石+うすい塩酸 【水素】 鉄や亜鉛+うすい塩酸 【アンモニア】 塩化アンモニウム+水酸化ナトリウム+水</p>	<p>質量パーセント濃度とは、溶液に含まれている、溶質の質量の割合。 質量パーセント濃度[%] $= \frac{\text{溶質の質量}[\text{g}]}{\text{溶媒} + \text{溶質の質量}[\text{g}]} \times 100$</p>
<p>a…入射角 b…反射角 c…屈折角 a = b (反射の法則)</p>	<p>圧力とは、一定面積あたりに垂直にはたらく力。</p> $\text{圧力}[\text{Pa}] = \frac{\text{力の大きさ}[\text{N}]}{\text{力を受ける面積}[\text{m}^2]}$	<p>浮力とは、水中に沈めた物体にはたらく上向きの力。 浮力[N] $= \text{空気中での値} - \text{水中での値}$</p>
<p>分解とは、1種類の物質が2種類以上の物質に分かれる化学変化。 $2\text{Ag}_2\text{O} \rightarrow 4\text{Ag} + \text{O}_2$ (酸化銀→銀+酸素) $2\text{NaHCO}_3 \rightarrow \text{Na}_2\text{CO}_3 + \text{CO}_2 + \text{H}_2\text{O}$ (炭酸水素ナトリウム→炭酸ナトリウム+二酸化炭素+水) $2\text{H}_2\text{O} \rightarrow 2\text{H}_2 + \text{O}_2$ (水→水素+酸素)</p>	<p>化合とは、2種類以上の物質が結びついて別の物質ができる化学変化。 $2\text{Mg} + \text{O}_2 \rightarrow 2\text{MgO}$ (マグネシウム+酸素→酸化マグネシウム) $2\text{Cu} + \text{O}_2 \rightarrow 2\text{CuO}$ (銅+酸素→酸化銅) $\text{Fe} + \text{S} \rightarrow \text{FeS}$ (鉄+硫黄→硫化鉄)</p>	<p>還元とは、酸化物から酸素をとり去る化学変化。一つの化学変化の中で、酸化と還元は同時に起こる。 $2\text{CuO} + \text{C} \rightarrow 2\text{Cu} + \text{CO}_2$ (酸化銅+炭素→銅+二酸化炭素)</p>
<p>オームの法則とは、「電熱線を通る電流は、電熱線に加わる電圧に比例する」という関係。</p> $\text{抵抗}[\Omega] = \frac{\text{電圧}[\text{V}]}{\text{電流}[\text{A}]}$	<p>直列回路では、 ・回路のどこでも電流(A)が同じ。 ・各電熱線にかかる電圧の和が、電源電圧と同じ。 ・回路全体の抵抗の大きさは、各抵抗の大きさの和である。</p>	<p>並列回路では、 ・回路のどこでも電圧(V)が同じ。 ・各電熱線を通る電流の和が、全体を通る電流と同じ。 ・回路全体の抵抗の大きさは、各抵抗の大きさよりも小さい。</p>
<p>電力とは、1秒あたりに使う電気エネルギーの量。 電力[W] = 電圧[V] × 電流[A]</p>	<p>電熱線に電圧を加えると、熱が発生する。 $\text{電熱線の発熱量}[\text{J}] = \text{電力}[\text{W}] \times \text{時間}[\text{s}]$ ※時間の単位が s = 秒 であることに注意。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 磁石による磁界は、N極からS極へ向かう。 導線に、右ねじの進む向きに電流を流すと、ねじを回す向きに磁界ができる。
<p>湿度とは、空気を含んでいる水蒸気量を、そのときの気温の飽和水蒸気量に対する百分率で表したものを。 $\text{湿度}[\%] = \frac{\text{空気} 1 \text{ m}^3 \text{ 中に含まれている水蒸気量}[\text{g}]}{\text{その気温での空気} 1 \text{ m}^3 \text{ 中の飽和水蒸気量}[\text{g}]} \times 100$</p>	<p>等圧線とは、同じ時刻の、各地の気圧の等しいところを結んだ曲線。 風は気圧の高いほうから低いほうへふき、等圧線の間隔がせまいところほど強くふく。</p>	<p>一つの物体に二つの力がはたらいてつり合うとき、 ①二つの力は、大きさが等しい。 ②二つの力は、一直線上にある。 ③二つの力は、向きが反対である。</p>
<p>向きのちがう二つの力の合力は、力の矢印を2辺とする平行四辺形の対角線で表される。</p>	<p>速さ = $\frac{\text{物体が移動した距離}}{\text{移動するのにかかった時間}}$ ・速さの単位には、m/s, km/hなどが用いられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 等速直線運動とは、速さが変わらず、一直線上を動く運動。 進行方向に力がはたらかないときや、二つ以上の力がつり合っているとき、物体は等速直線運動をする。このとき、進んだ距離は時間に比例する。
<p>仕事とは、物体を動かすときの力の大きさと、力の向きに動いた距離との積。 仕事[J] = 力の大きさ[N] × 力の向きに動いた距離[m]</p>	<p>仕事率とは、一定の時間にどれだけ仕事をするかという割合。 $\text{仕事率}[\text{W}] = \frac{\text{仕事の大きさ}[\text{J}]}{\text{仕事に要した時間}[\text{s}]}$</p>	<p>動滑車、てこ、斜面などを使うと、物体を動かすのに必要な力は小さくなるが、力をはたらかせる距離は大きくなる。そのため、結果として、仕事の大きさは変わらない。これを仕事の原理という。</p>
<p>台車が斜面を下る運動では、台車がつまみ位置エネルギーが運動とともに減少し、運動エネルギーが増加していく。力学的エネルギーは位置エネルギーと運動エネルギーの和で、摩擦や空気抵抗がなければ一定に保たれる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 化学電池とは、化学エネルギーを電気エネルギーに変えるしくみ。電解質の水溶液に2種類の金属を入れると化学電池ができる。 一極では電子を出す化学変化、+極では電子を受けとる化学変化が起こる。 	<ul style="list-style-type: none"> 中和とは、酸とアルカリの水溶液を混ぜ合わせたときに、おたがいの性質を打ち消し合うこと。 中和が起こると、水と塩(えん)ができる。酸とアルカリの種類がちがえば、できる塩の種類も変わる。
<p>地球の自転による日周運動では、天体は1時間に15度ずつ動いて見える。(360度 ÷ 24時間 = 15度) 地球の公転による年周運動では、天体は1か月に30度ずつ動いて見える。(360度 ÷ 12か月 = 30度)</p>	<p>日本がある北半球では、南中高度は夏至の日に最も高く、冬至の日に最も低い。 これは、地球が地軸を公転面に対して傾けたまま公転しているため。</p>	<p>遺伝子Aが優性、aが劣性の対立形質である場合、AAとaaという純系どうしをかけ合わせると、 子はすべてAa 孫はAA:Aa:aa = 1:2:1となる。</p>

入試は限られた時間内で問題を解いていくのですから、時間配分がポイントになります。次の①→②→③の順序で、要領よく進めていきましょう。

①問題全体を見渡す！

「始め！」の声がかかったら、まず、受験番号、氏名を忘れずに記入すること。そして、次に問題用紙全体を見渡しましょう。

例えば英語なら「対話文だな」「書き換えだ」と大問ごとにどんな問題が出ているかをみます。そして「すぐ解けそうな」問題、「てこずりそうな」問題というように、大ざっぱにつかんでおきます。



長文問題対策 解き方のポイント

問題用紙にどんどんメモる

問題用紙のメモは、問題文の“のみ込み”をスピードアップさせるほか、ミスの予防、見直しの能率アップなど、とにかく役に立ちます。

メモのポイント

- ◇問題文にアンダーラインを引きながら読む
段落ごとの結論めいた部分や、文章全体のキーワードに印をつけながら読む。
- ◇問題文と設問を一緒に読みすすめる
例えば、英語の長文中に「(1) We don't ~」とあれば、設問 (1) もそのときに一緒に目を通しておくとよい。設問中には、問題文読解のヒントがかくされていることがよくある。
- ◇設問文のポイントにもアンダーラインを引く
「反対の意味に」「5字以内で書け」などの答え方の指示や与えられた条件を見逃さないように、印をつけておく。

②解けそうな問題から解く！

第1問目から解かなくてもよいのですから、解けそうな問題から手をつけるのがポイント。

解けそうな問題から、落ち着いて取り組んで、確実に点をとるようにしましょう。

次に残り時間を確認して、てこずりそうな問題にかかりましょう。5分間考えてもわからない問題は、思い切ってとばしましょう。頭を切りかえ、他の問題でしっかり得点するほうが先です。答えは出したけれど自信のない問題には、問題用紙に○をつけておきます。

③見直しをする！

入試はほとんどが1科目50分ですが、解答時間は実質40分と考えて、最後の10分は見直しの時間にあてましょう。見直しこそ、ケアレスミスをなくし、合格点確保のための“決め手”なのです。

見直しの手順例

- (1) まず自信のない○印の問題を確認。
- (2) よくやりがちなミスをもう一度思い出して確認。名前や受験番号も再チェック。
- (3) 次にはじめから順番に、正解できているかどうかを確かめていく。
- (4) これだけ終わって時間が余ったら、できていない問題を考える。最後まであきらめないで！



入試当日アクシデント対処法

ついに入試当日！準備もバッチリ、あとは下のモデル・スケジュールを参考に、落ち着いて行動すれば、きっとよい結果が出るはず。自信を持って会場に向かいましょう。でも、もし思わぬアクシデントが起こったら？そんなときのために、このページではいろいろなアクシデントケースを想定して、対処法を集めてみました。万が一のときは、このページで読んだことを思い出して、あわてず、さわがず、冷静に行動しましょう。

POINT

電話連絡をするときのための小銭やテレホンカード、また、タクシーに乗れるくらいのお金を用意しておくで安心。受験校の電話番号のひかえは忘れずに！



携帯電話は試験会場に持ち込み禁止としている学校もあります。特に規則がない場合でも、試験中は電源を切り、カバンの中へしまうこと。(ポケットに入れたり、机の中に入れてしまうと、不正行為となる場合があります)
※詳細は受験票と一緒に配布される「試験当日の注意」などのプリントで確認してください。

受験校の下見は、場所、校内の配置はもちろん、交通と時間もよく調べよう。特に、乗降者の多い駅や、バス乗り場がいくつもある所は注意。



●入試当日のモデル・スケジュール●

起床…6時頃がベスト。軽い体操で目を覚まそう。

朝食…軽めのものを、ちゃんと食べる。トイレに行くのも忘れずに(早起きだからこそできる)。

出発…30分前には会場に着く余裕を持って。到着したら、先生や試験官の指示のとおり(試験前の注意事項はしっかり聞こう)。

本番…受験票、鉛筆、時計などを静かに机に並べ、番号や名前もゆっくりと、正確に記入。

CASE 1 遅刻しそうになった!!

寝ぼろや集合時間の覚え間違いなど、自分のうっかりミスで遅刻することは絶対に禁物。

でも、やむを得ない理由があるとき(大雨や雪などの自然災害で電車が大幅に遅れたり、バスが交通事故にまきこまれたりとか)は、場合によっては受験が認められることもあるということを覚えておきましょう。

「このままじゃ遅刻しそうだ」と判断したら、まず一番に受験する学校に電話を入れること。そして、きちんと遅刻の理由を話し、そのうえで学校側の指示に従うことが大切です。ただし、公衆電話がとても混んでいるときや、他の受験生からも電話が殺到して、なかなか学校の電話が繋がらないこともあります。そんな時は、タクシーを利用するなどの別の方法で受験校に向かい、学校に到着次第、事情を説明しましょう。

CASE 2 会場を間違えた!!

高校によっては、受験会場が数カ所に分けられるところもありますから、自分の受験会場はしっかり確認しておいて下さい。

それでも、もし会場を間違えてしまったら…。試験開始時間までに正しい会場に行けるならともかく、遅刻が避けられないというときは、できるだけ早く係の先生、または受付に申し出ましょう。

もちろん、自分の不注意でまちがえたのだから、しかられるのは当たり前。でもいつまでも一人で「どうしよう～」と悩んでいたりと、自分だけで勝手に判断して、あわてて本来の会場に行って遅刻するよりは、恥を覚悟で申し出るほうが賢明です。



CASE 3

忘れ物をしてしまった!!

受験票

前の晩、あんなにチェックしたはずなのに、受験票がない! 受験票がなければ、受ける教室もわからないし、気が動転して、パニック状態に…。でも、こんなときこそ、あわてずに行動しなければダメ。

まず、受験校の係の先生か、受付に申し出ること。受験生本人であることがちゃんと確認されれば、仮受験票が交付されるはず。万が一を考えて、受験番号はあらかじめ、ひかえておきましょう。

お弁当

試験の合間のランチタイムは、午後からの試験に向けてエネルギーを補給する大事なひととき。な・なの、に、お弁当を忘れてしまった!

「しかたない、昼はぬきにして、この時間を使って勉強でもするか」なんて考える人もいるかもしれませんが、空腹のままでは勉強も頭に入らないし、午後の試験にもマイナスです。家族にも協力してもらって、当日の朝、絶対に忘れないようにしよう。

POINT

持ち物チェックリストなどをつくって(最終ページ参照)、忘れ物はしないようにするのが一番。だけど運悪く忘れ物をしてしまったときは的確な判断と、素早い行動が基本。

CASE 4

体調が悪くなった!!

試験中に、風邪が悪化したり、緊張のあまり気持ちが悪くなって我慢できないときは、すぐ、係の先生に申し出ましょう。学校によって対応のしかたは異なりますが、病状の診断結果から判断して、保健室で受験することが認められたり、追試験を受けることができる場合もあるのです。

でも、これはあくまでも非常手段。そんなことにならないように、ふだんから自分の体調をコントロールしておくことが大切です。

また、試験中にトイレに行きたくなった場合、ずっと我慢しているとそればかりに気をとられて思考力が低下してしまいます。多少のロスタイムはしかたありません。係の先生に申し出ましょう。

POINT

健康な人でも、試験会場の暖房や人ごみなどのせいで、急に体調をくずしてしまう場合もあります。服装などで体温を調節できるような工夫をして出かけましょう。使い捨て携帯カイロなどを用意しておくのもいいでしょう。

風邪を予防する 5 つのポイント

①うがいをする

のどの有害微生物を除去します。のどの粘膜の加湿が予防に役立ちます。殺菌剤や、温かいお茶でうがいすればより効果的。外出後や寝る前に、特に行いましょう。

②歯を磨く

歯に挟まっている食物のかすを取り除く事により、風邪より恐ろしい病気の予防につながります。寝る前に歯を磨く習慣を付けましょう。

③手を洗う

手に着いた有害微生物を除去します。流水で石鹸をつけて良く洗いましょう。トイレの後、外出後、食前、顔や口に触れる前にも洗いましょう。

④室内乾燥に注意

気温が下がれば体の外表面温度も下がり、免疫能力も低下します。湿度も下がるので風邪をひきやすくなります。室内の温度調整や衣類等での調整、そして加湿もしましょう。冬の風邪のウィルスは湿度に弱いので、部屋には加湿器が有効です。部屋の湿度は60～80%に設定しましょう。

⑤十分な睡眠

睡眠不足は体力が落ち、風邪に狙われやすくなります。また運動不足もいけません。散歩やジョギング等軽い運動を。体を動かすことにより血液の流れがよくなり、脳のはたらきもアップします。



入試当日の持ち物チェックリスト

必要なものには「必要」欄に印をつけ、準備が済んだら CHECK 欄に印をつけていきましょう。持ち物には必ず名前を書いておくこと。

項目	備考	必要	CHECK
受験票	併願校の受験票と間違えないように！		
筆記用具	鉛筆・消しゴムとも多めに用意する。シャープペンシルなら、替え芯も忘れずに。下じきは不要の学校がほとんど。必要な場合は無地のものを。		
作図用具	定規・コンパスなど。入試要項を見て確認しよう。		
時計	アラームや計算機付きの時計は禁止している場合がほとんど。注意しよう。		
現金	万が一の場合に備えてタクシー代も用意しておく心安。		
お弁当	午後もがんばるための大事なエネルギー。消化のいいものを選ぼう。		
飲み物	ほっとひと息つける温かいお茶がベター。		
生徒手帳	面接で、自分の中学について聞かれた時に答えられるよう、読んでおこう。また、試験会場での注意事項や指示を書きとめるメモ帳としても役立つ。		
ハンカチ ティッシュ	多めに持っていこう。雨や雪の日などは小さめのタオルがあると便利。		
上ばき	試験会場によっては必要。スリッパは不可の学校もある。ふだん学校ではいているものをきれいに洗って持っていこう。		
防寒具	使い捨てカイロ、セーター、カーディガンなど、試験会場の室温に合わせて調節ができるものを。手の冷え防止に手袋をして出かけるとうい。		
雨具	天気によって持っていこう。かさを入れるビニール袋があると便利。		
参考書、ノート など勉強道具	当日、頭にすべてつめ込もうとしても、かえって混乱のもとに。最後に本当にチェックしたいと思うものだけにしぼって、持っていこう。		
学校案内	面接のときに、学校の内容について質問される場合もある。事前に読んでおくのはもちろんだが、最終確認のために持っていると安心。		
その他	当日のコンディションや各自の必要に応じて、メガネ、お守り、替えのくつ下（雨や雪の場合）などを持っていく。		